

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 エペソ1:22-23………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 13番
- *交読文 …………… 49番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 9番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 396番
- メッセージ …………… チームワークとしての再建のわざ(ネヘミヤ3章)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 178番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

霊の賜物は種々あるが、御霊は同じである。務は種々あるが、主は同じである。働きは種々あるが、すべてのものの中に働いてすべてのことをなされる神は、同じである。____が御霊の現れを賜わっているのは、全体の益になるためである。

…すべてこれらのものは、一つの同じ御霊の働きであって、御霊は思いのままに、それらを____に分け与えられるのである。からだの一つであっても肢体は多くあり、また、からだのすべての肢体が多くあっても、からだは一つであるように、キリストの場合も同様である。なぜなら、____たちは皆、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つの御霊によって、一つのからだとなるようにバプテスマを受け、そして皆一つの御霊を飲んだからである。(1コリント12:4-13)

____は、代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい。(1コリント6:20)

天声教会の節目にあたる今年に入り、教会設立当初にハガイ書から与えられたビジョンである「礼拝の再建」を中心に学んで来た。神殿の再建が始まって以降、主は祝福を返して下さる事を約束されたが、ハガイの時代、神殿のあるエルサレムの都の城壁は、ネヘミヤの時代まで、破壊されたままだった。城壁が崩されたまま、という事は、敵は出入りし放題、邪魔され放題、分捕られ放題である。ネヘミヤはその状態を憂いて悲しみ、主に祈った結果、主は彼の祈りを聞かれ、彼が仕えていたペルシア王を動かし、彼をエルサレムの総督に任命して、城壁を再建する者として遣わされた事を、前々回見た。私達も立て直す事を決心するなら、もはやそれが阻害されないようにするため、「城壁」を再建する必要がある。今回、再建を始めたネヘミヤ達がどのように仕事を進めて行ったのかを、ネヘミヤ記3章から学び、私達もどのように再建を進めて行くべきかの指針を得たい。

『かくて大祭司エリアシブは、その兄弟である祭司たちと共に立って羊の門を建て、これを聖別してその扉を設け、さらにこれを聖別して、ハンメアの望楼に及ぼし、またハナネルの望楼にまで及ぼした。』(1節)ネヘミヤの呼びかけに最初に応答して仕事を始めたのは大祭司で、彼らが真っ先に再建したのは「羊の門」、すなわち神殿の間近に位置する所だ。最も優先的にガードすべきは、神殿、すなわち礼拝である。再建を始める時、敵がほぼ邪魔しに来る事を、前々回学んだが、最も邪魔しようとするのは、礼拝である。まずは、礼拝を邪魔するあらゆる思いや考え、習慣、あるいはそのような人を取り扱うべきである。また、この章では合計10の城門があるが、門は出入りする所で、最も攻撃にさらされやすい所である。神殿、すなわち礼拝の次にガードすべきは、門であり、私達がガードすべき「門」とは、耳、目、口である。インターネットや人の噂話など、世から聞こえて来るもの、見えてくるもの出入りをしっかり管理すべきであり、人の言葉などにいちいち傷ついたり煩わされたりする事がもはや無いよう、イエスの血を塗って清め、傷つきやすい状態を、修復するのだ。「人はその口の実によって、幸福に満ち足り、人の手のわざは、その人の身に帰る。」(箴言12:14)とある通り、唇からは悪い言葉を出さず事なく、昼も夜も、御言葉を口ずさむべきである。それをするなら、水路のそばに植わった木のように、時が来れば実がなり、しおれる事なく、何をしても栄える。(詩篇1篇)

ネヘミヤ3章は、誰々が何処を修理し、次に誰々が何処を修理した、という記述が続くが、再建のわざは、チームワークである。工事に関わった人達は色々な職種があり、祭司(1)、金細工人(8, 31, 32)、香料作り(8)、レビ人(17)、商人(31, 32)、また、娘達と一緒に建て上げた父親もいた(12)。力のあるなしに関わらず、実に多彩な人達がこれに当たっている。主の働きの建て上げも、同じキリストを頭とする多彩な人達によるものであり、主は彼ら一人ひとりに、異なった賜物を与えられた。(1コリント12章)彼らは工事については素人ではあったであろうが、エルサレムの城壁は、彼らによって築かれたように、この教会も、工事についてはほぼ素人の、色々な職種の人達と、その娘達による手弁当の工事によって、諸々のものが作られた。人は何かと、自分のプロフェッショナルリティや、常識に基いて判断し、自分で限界を設けてしまう所があるが、主の仕事において重要な事は、自分の何かではなく、主からの召命である。

自分にこれこれの準備が整えられたら、これこれの学識や技術を身につけてからにしよう、と思いつつ先延ばしにしていると、結局、何も出来ないまま、いたずらに時を過ぎてしまうという事が、ありがちである。ちょうど、バビロン捕囚から帰還した民が、城壁を建て直しもしないまま、何十年も過ぎてしまったように。私達は、自分の力や能力に頼って、主のわざを成せるものではない。全てを満たして下さるキリストに繋がってこそ、有益な実りを結ばせられるのだ。(ヨハネ15章)『教会はキリストのからだであって、すべてのものを、すべてのもののうちに満たしているかたが、満ちみちているものに、ほかならない。』(エペソ1:23)優れた人になろうとする努力も大事だが、それよりも大事な事は、すべてのものを、全てのものによって満たす御方、キリストにより頼み、彼に求め、聞き従う事である。それをするなら、私達には到底できないような、また、到底考えも及ばなかったような事を、彼にあって、為す事が出来るのだ。私達はキリストのからだ、であり、互いがそれぞれ器官である。私達のかしらであられるキリストに繋がって、互いに建て上げられ、成長し合っていく皆さんであり、そしてこの教会でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube